



一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2026（令和8）年 4月14日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地 3-15-9（アルテビル那覇 2F） 電話（098）861-2180

各位

景気ウォッチャー3月調査

沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、3月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 原油価格高騰の影響が一部でみられたものの、観光需要を中心に景気は好調だったことから、現状判断 DI 値は「51.5」と好況。
2. 中東情勢により先行きに不透明感はあるものの、新生活や大型連休による県内需要増加が期待され、2～3か月先の先行き判断 DI 値は「51.8」と好況の見通し。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2026年3月調査」をご覧ください。

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：嘉手納

問い合わせ先：電話 098-861-2180（ファクシミリ 098-869-0661）

E-mail kadena-t@niac.or.jp

報道各社

内閣府において公表された 2026 (令和8)年3月
「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、
弊財団にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめ
ましたので、皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

景気ウォッチャー3月調査（季節調整値） 沖縄地域の結果

1. 沖縄地域の3月調査結果

- 3月調査の現状判断 DI 値は 51.5 となりました。原油価格高騰による影響で前月比 4.4 ポイント減少したものの、12 か月連続で景気判断基準値の 50 を上回り好況が続いております。
- 全体的な傾向として、中東情勢の悪化による原油価格高騰の影響が一部でみられるものの、観光需要を中心に景気は好調と判断しているコメントが多くみられました。
- 以下にコメントの一部を整理しています。

(◎：良、○：やや良、□：不変、▲：やや悪、×：悪)

分野	業種	判断	判断理由
家計動向 関連	観光名所	○	・前月から今月にかけて、来客数が前年を超えている。
	その他専門店 [書籍]	○	・春休みシーズンで繁華街は多くの人であふれており、観光客も来店している。インバウンドも前年より微増している。
	乗用車販売店	□	・中東情勢の不安から、ガソリン価格の高騰が続いており、車の購入意欲が低下しているとみられる。
	通信会社	▲	・3月の販売数は、前年比で1割減少となっている。中東情勢の影響で光熱費の価格が上昇した場合、更に販売数が落ち込むとみている。
企業動向 関連	食料品製造業	○	・観光関連の売上は好調に推移している。最低賃金引上げの影響により、一般消費者による食品の売上も増加しているとみている
	輸送業	▲	・原油価格の高騰で、トラックの輸送費や物流業務で使用する資材が高騰しており、入手が困難になっている。
雇用関連	求人情報誌 製作会社	○	・卒業シーズンによる欠員補充や、ゴールデンウィーク前の採用需要を背景に、サービス業の求人数は増加傾向にある。
	学校 [専門学校]	▲	・企業と学生共に就職活動の動きが早まっているため、求人時期が前倒しされている。それに伴い、求人数は前年同期比で減少している。

2. 沖縄地域の先行き

- 先行き判断 DI 値は 51.8 となりました。現状判断と同様に、原油価格高騰による影響で前月比 10 ポイント減少したものの、景気判断基準の 50 を上回り、2～3 か月先も好況が続く見通しとなっています。
- 全体的な傾向として、中東情勢により先行きに不透明感はあるものの、新生活や大型連休による県内需要増加を期待するコメントが多くみられました。

- 以下にコメントの一部を整理しています。

(◎：良、○：やや良、□：不変、▲：やや悪、×：悪)

分野	業種	判断	判断理由
家計動向 関連	百貨店	○	・新生活や母の日ギフト需要のほか、ゴールデンウィークなどで来客が増加するとみている。
	スーパー	○	・新生活や母の日ギフト需要のほか、ゴールデンウィークなどで来客が増加するとみている。
	観光型ホテル	▲	・原油価格高騰に伴う物価や航空運賃等の上昇により、旅行需要の低下が懸念される。さらに、ガソリン価格上昇の影響で遠出を控える動きが見られ、北部地域のホテルや観光施設などへの来客数が減少するとみている
企業動向 関連	建設業	○	・建築計画の相談も複数あり、技術者採用を推進する予定である
	広告代理店	□	・基幹産業の観光は好調に推移しているものの、中東情勢による原油価格高騰への危機意識が高まることで、県内企業が販売促進投資を抑えるとみている
雇用関連	求人情報誌制作会社	□	・人手不足感は継続しており、今後も求人情報誌制作会社は増加傾向で推移する見込みである。一方、5月から6月にかけては求職者の動きが一服し、転職・就職活動はやや落ち着いた状態になるとみている。

3. 所感

- 足元の関心事は中東情勢の悪化により、4/8にホルムズ海峡が再封鎖されたことで、経済活動は再び不透明感が強まりました。原油価格の影響は今後も注視しながら、県内企業においては、ゴールデンウィーク等による商機を逃さず更なる景気回復に繋がる取組に期待しています。

図 沖縄と全国の現状判断DI値の推移と先行き判断DI値（季節調整値）

